

平成26年第12回伊丹市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成26年12月18日(木) 午後2時00分～午後3時20分
2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室
3. 主 宰 者 委員長 滝内 秀昭
4. 委員の出席 滝内 秀昭 川畑 徹朗 小林 万理子 江原 礼子 木下 誠
5. 委員の欠席 なし
6. 傍 聴 人 なし
7. 関係者の出席

教育長	木下 誠	保健体育課長	早崎 潤
管理部長	谷澤 伸二	学校給食センター所長	松浦 洋一
学校教育部長	太田 洋子	社会教育長	中畔 明日香
生涯学習部長	小長谷 正治	公民館長	池田 真美
教育長付参事	二宮 毅	博物館長	亀田 浩
教育長付参事	大西 俊己	図書館長	三枝 芳美
総合教育センター所長	後藤 猛虎	人権教育室主幹	松山 和久
総合教育センター副参事	村上 順一	中学校給食推進班主幹	田中 康之
人権教育室長	大野 浩史	生涯学習部主幹	善入 美津治
職員課長	升井 竜雄	少年愛護センター所長	倉島 正佳
教育企画課長	花光 潤一	教育総務課長	中井 秀典
学校指導課長	春名 潤一	教育総務課主査	中村 太郎
学事課長	大村 寿一	教育総務課	寺内 みこ

8. 議 事

- (1) 開会宣言 滝内委員長(午後2時00分)
- (2) 日程報告 滝内委員長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第	1	前回会議録の承認
日程第	2	教育長報告
日程第	3	議案第58号の審議
日程第	4	議案第59号の審議
日程第	5	議案第60号の審議
日程第	6	議案第61号の審議
日程第	7	議案第62号の審議

滝内委員長より「議案第58号及び議案第59号は個人情報を含むため、議案第60号、議案第61号及び議案第62号は人事案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項の規定に基づき非公開にしたいと思いますが、よろしいでしょうか」との発議があり、全委員はこれを了承。

議案第58号、議案第59号、議案第60号、議案第61号及び議案第62号は非公開の秘密会となる。

(3) 前回会議録の承認（日程第1）

平成26年第11回伊丹市教育委員会定例会（平成26年11月20日〈木〉開催）の会議録については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告（日程第2）

教育長の指示により、管理部長より「12月分人事報告」・「11月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「11月分寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部の、生涯学習部長より生涯学習部の、教育長付参事より人権教育室の、教育長付参事兼中学校給食推進班長より中学校給食推進班の、「11月分行事実施報告」「11月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

江原委員 5ページの研究発表会について、学校と子どもたちの一生懸命な様子を見ることが出来たこと、熱心に取り組んだ成果を感じる事が出来たことが非常に嬉しかった。一方で気になった点がいくつかあったのでお伝えしたい。

1点目、講師の方から「当日の指導案が届けられていなかった」ということを聞いた。

2点目、公開授業をする教諭の選定に疑問を感じた。

3点目、服装のことで、上靴ではなくスリッパを履いている教諭がいた。

非常に細かいことで学校としては耳の痛い話だと思う。しかし、本来研究発表会のためには色々な準備が必要で、一つ一つ準備をして当日に臨むということを再確認してほしい。今後、予定されている研究発表会では、是非そういった点にも注意をして、よりよい授業を公開できるよう準備を進めていただきたい。

太田部長 今お話しいただいたことについて、既に学校長から報告があったものもあり、教育委員会としても憂慮しているところである。学校としては、講師の方に指導案をお送りする手はずになっていたが、担当の教諭が送付を抜かっていたということのようで、最終チェックを怠ったことを悔やんでいたのと、教諭に対してそこまでの指導が必要になってきているのかということをお慮していた。

今後指導していきたいと考えているが、まずは1月に実施する夜間の教頭研修において、このような具体例を示しながら指導を行っていきたい。

木下教育長 教諭に対して、そういったこと一つ一つが何故大切なのかということをお教

えなければいけないと思う。また、例えば講師の方に指導案が事前に渡っていなかったということの一つ取っても、準備にゆとりがないことがうかがえる。今回のことも踏まえて、今後教頭研修等において指導し、管理職を通じて現場に反映していきたいと考えている。

小林委員 研究発表会の一覧をいただきとても有効に活用させていただいたので、可能であれば次年度もいただきたいと思う。また、図工展やオープンスクールの子供について、分かる範囲で加えていただければありがたい。

川畑委員 5-2 ページ読書冊数調査について、調査方法を教えていただきたい。

春名課長 児童生徒に毎日記録をつけるよう指導しており、その記録を元に教諭が聞き取りを行って調査している。

川畑委員 7-7 ページの ICT 活用状況について、先日ある中学校を訪問した際、様々な場面で ICT を活用しているように感じ、この統計の結果と実態が合っていないのではないかと校長に尋ねたところ、活用したことの報告がきちんと出来ていない場合があるという回答で驚いた。現状を把握し今後の対策を練るために統計を取っているの、改めて統計の取り方を見直す必要があると思う。

10 ページのいじめ対策等審議会のいじめフォーラムについて、24日実施予定ということだが、同日午前中に教育委員と話そうが予定されているので、時間を確認させていただきたい。

太田部長 午後2時30分からである。

木下教育長 7-7 ページの ICT 活用状況について、川畑委員のおっしゃったことの逆もまた然りで、統計の数字はあがっているものの、実際学校を訪問した際にはそういった場面が見受けられないと感じることもある。調査方法の見直しや周知徹底に努めていただきたい。

5-3 ページの貸出冊数調査について、中学校の統計を見ると、1ヶ月の読書冊数2,89冊に対して、学校図書館の貸出冊数0,95冊という状況である。このことから、3冊のうち1冊を学校図書館で借り、2冊を購入するなり市立図書館で借りるなりして、学校図書館以外の図書を読んでいることが分かるが、そのあたりどのように考えているか。

春名課長 まず、子どもたちの読書冊数のうち3分の1しか学校図書館の図書が含まれていないことについては、いくつか原因があると分析している。

1 点目、中学生になると読書の趣向が非常に多様になるということ。
2 点目、子どもたちの興味が流行りの図書に向いていくこと。
3 点目、それに対して新刊の導入がなかなか追いついていないということ。
4 点目、学校には学校図書館だけでなく、各教室に学級文庫が備え付けられていること。以上の4点から、読書冊数に比べ、学校図書館の貸出冊数が少ないということについて、中学生になるとその傾向が顕著に現れると分析している。

対策としては、子どもたちが読みたいと思う図書を学校図書館に置くように、学校司書や読書指導員に対して新刊案内等を続けていきたいと考えている。

木下教育長 大切なのは、この統計を元にどのような対策を講じるかということである。全国学力・学習状況調査の結果から読書の大切さを改めて認識し、あらゆる場面でそのことを伝えてきたと思うが、統計を見ると全然伝わっていないように感じる。12月の調査結果を見てみなければ判断できないが、教育委員会としてとりまとめた方策が学校現場において実現できていないと感じる。

滝内委員長 5-2ページの読書冊数調査と5-3ページの貸出冊数調査について、この統計を学校に返して、結果について現場で熟慮していただきたいと思う。小学校においても、ある小学校で読書冊数は24,43冊と17小学校のうち最も多いのにも関わらず、貸出冊数は6,08冊と16番目の冊数になっている。このように、各冊数とそのバランスについて疑問を感じる部分があるので、学校に尋ねるなどして分析したり、再度確認して信憑性のあるものかを確かめていただきたいと思う。

木下教育長 14-4ページの土曜学習実施状況について、今年度の重要な施策の一つで大きな期待がかかっていると感じるところであり、全ての学校において全力で取り組んでいきたいと考えている。そこで、実施回数の少ない伊丹小学校、鈴原小学校、西中学校の状況を教えていただきたい。

中畔課長 伊丹小学校はPTAの方が中心となって取り組んでいる。始めは高学年を対象として実施していたが、低学年の子どもを持つPTAの方が来られなかったということがあり、12月には全学年を対象としたところ80人を超える参加があった。

木下教育長 この統計をみると伊丹小学校は11月に実施していないことになっているが、実際は実施したということか。

中畔課長 表に誤りがあり、実際は11月に1回実施し28人が参加している。

木下教育長 鈴原小学校の状況は。

中畔課長 11月は実施していない。

木下教育長 西中学校の状況は。

中畔課長 11月は実施していない。

木下教育長 これが大きな問題で、25校のうち1校でも遅れが出てはいけないと思っている。学校やコーディネーターに任せっきりにするのではなく、教育委員会も一緒になって実施していかなければならない。学校現場の課題を聞きとったり、要望をくみ取ったりしながらしっかり支援していく必要がある。

中畔課長 PTA連合会との懇談会の中で、各学校の単位PTAの意見をもっと取り入れてほしいという声が多く出たことから、それぞれにアンケートを実施したところである。今後、アンケート結果を踏まえて来年度の事業実施に向けて対策を考えていきたいと考えている。

小林委員 来賓として学校行事に出席した際に、受付を済ませていただいた名札を付けて会場に行くと、一般の席へ案内されたことがあった。他の来賓の方が立って観覧している姿もお見かけした。

また、別の行事ではスリッパが用意されておらず裸足で移動したということもあった。

来賓の中には私たち教育委員や学校関係者だけでなく、地域の方やそれ以外にもお越しにいただいている方がいらっしゃるもので、そういった部分の配慮が出来ないのは残念に思う。PTAの方に全てお任せするのではなく、学校とPTAが連携してしっかりと対応していただきたい。

木下教育長 これは組織力の問題である。必要な心遣いが当たり前に出なかったり配慮に欠けていたりということは、組織力の低さの表れである。せっかくお越しにいただいた方に対し、失礼に当たらないよう精一杯気を配ることは当たり前であって、最も大切なうえ、必要なことであると私は考えている。改めるよう指導していく。

太田部長 先ほど江原委員がおっしゃったことも合わせて、今まで当然に出来ると思
っていたことが出来なくなっていると実感している。学校としては耳の痛い
話だと思うが、耳の痛いことに耳を傾けて組織改善を図っていくよう指導し
ていく。

(5) 議案第58号の審議（日程第3）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第58号 伊丹市立図書館協議会委員の委嘱ま
たは任命について」を可決。

(6) 議案第59号の審議（日程第4）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第59号 伊丹市文化財審議委員会委員の委嘱
について」を可決。

(7) 議案第60号の審議（日程第5）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第60号 教育委員会委員の辞任について」を
可決。

(8) 議案第61号の審議（日程第6）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第61号 教育委員会委員の辞任について」を
可決。

(9) 議案第62号の審議（日程第7）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第62号 教育委員会委員の辞任について」を
可決。

(6) 閉会宣言

滝内委員長（午後3時20分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育委員会委員長 滝内 秀昭

伊丹市教育長 木下 誠